

## 四條畷学園大学看護学部 卒業後アンケート結果報告

2021年3月

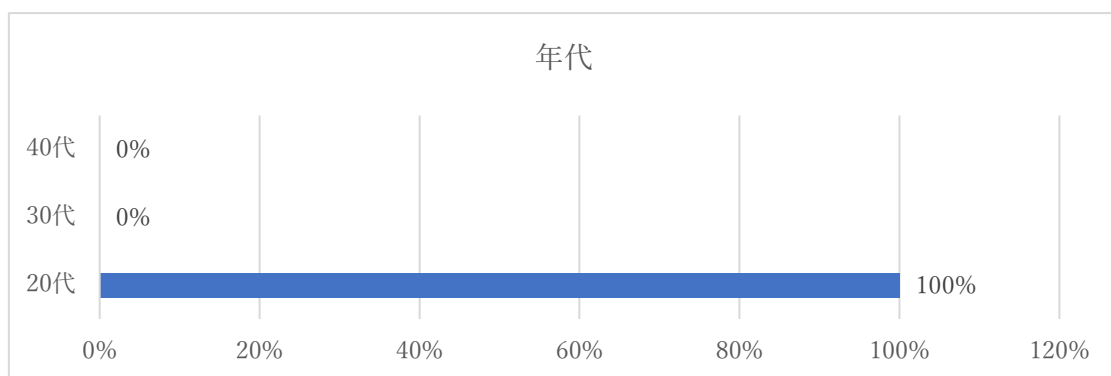
### 1. 調査の概要：

- ① 実施期間：2020年10月～2021年2月末
- ② 対象：四條畷学園大学 2018年度(第1期生)の卒業生 62名
- ③ 調査方法：Webによる
- ④ 回答状況：15名(24.2%)

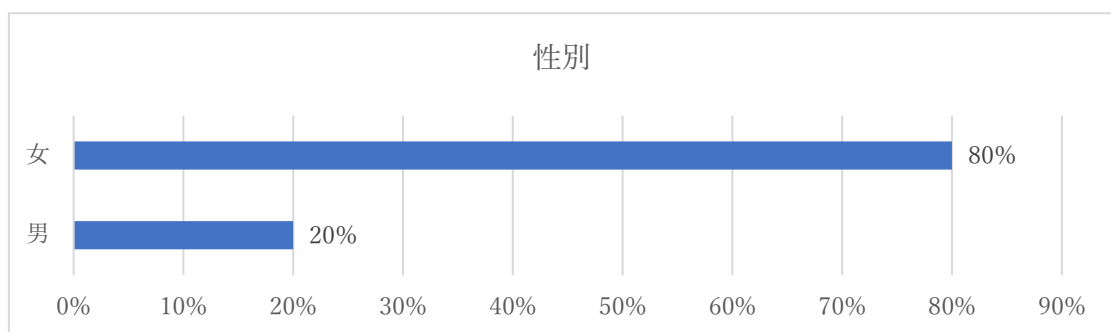
### 2. 調査結果

あなたの基本属性についてお尋ねします。

#### 1) あなたの年代は

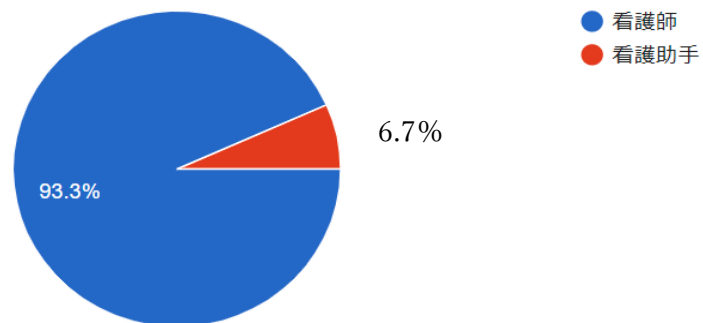


#### 2) 性別



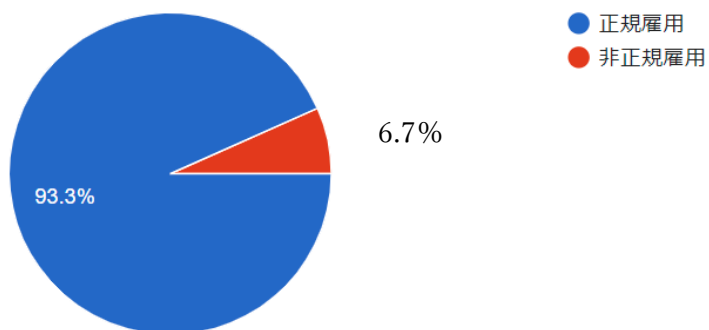
問 あなたの職業は

15 件の回答



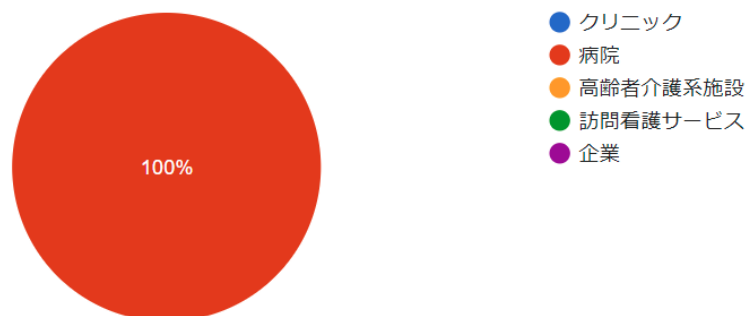
問 就業形態をお答えください

15 件の回答



問 勤務場所をお答えください

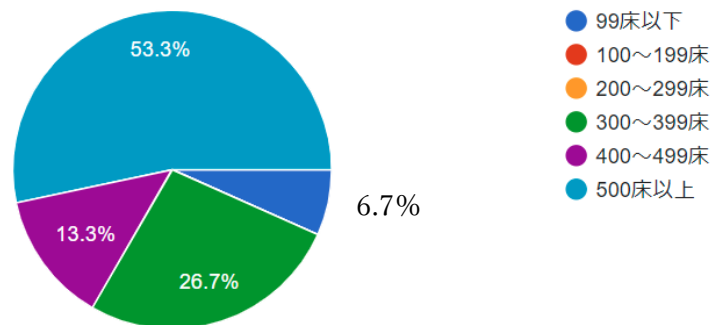
15 件の回答



問

勤務場所が「病院」とお答えいただいた方のみ病院規模をお答えください

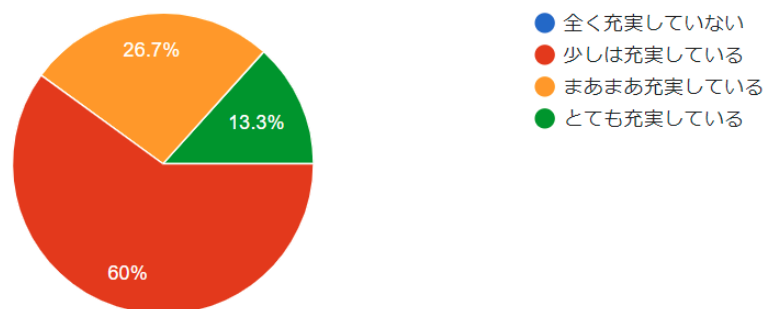
15 件の回答



問

仕事の充実度についてお答えください

15 件の回答

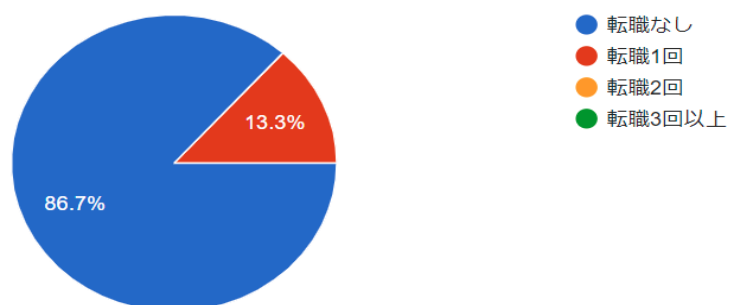


●仕事の充実度は「とても充実している」が13・3%、「少しは充実している」が60%、「まあまあ充実している」が26.7%と、ほとんどが肯定的な回答であった。

問

転職回数についてお答えください

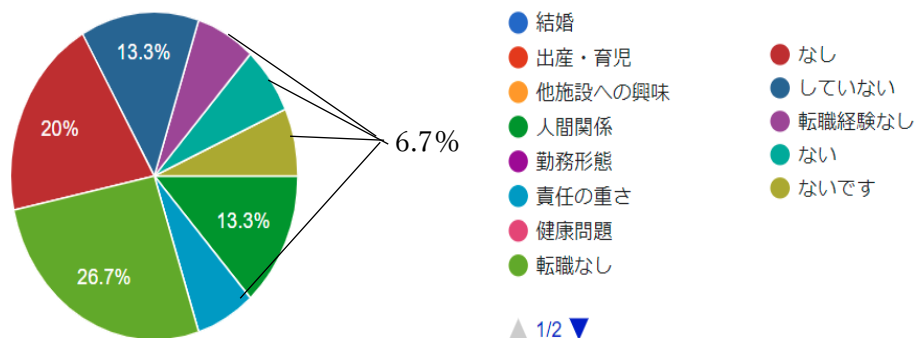
15 件の回答



問

転職経験のある方はその理由をお答えください(複数回答可)

15 件の回答



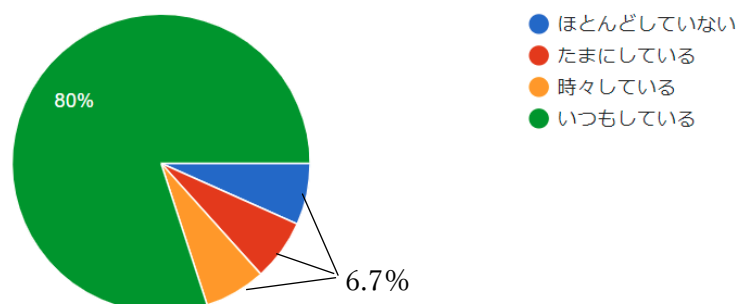
●卒後 1 年半経過した卒業生のうち 86.7%が同じ職場で勤務しており、転職 1 回が 13・3%であった。転職理由として、「人間関係」「勤務体制」「責任の重さ」であった。

現在の皆様方の仕事に対する態度についてお聞きます。

問

挨拶や仕事の準備・片づけを自ら進んでしている

15 件の回答

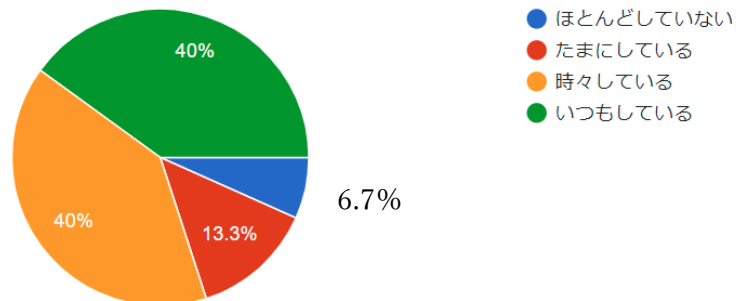


●仕事の対する態度として挨拶や準備・片付けを自ら進んでしている割合は、「いつもしている」80%が一番多く、「たまにしている」「時々している」各 6.7%であり、9 割の卒業生が自ら行っていた。

問

自分のできていること、できていないことを受け止めて、他のメンバーに説明している

15 件の回答

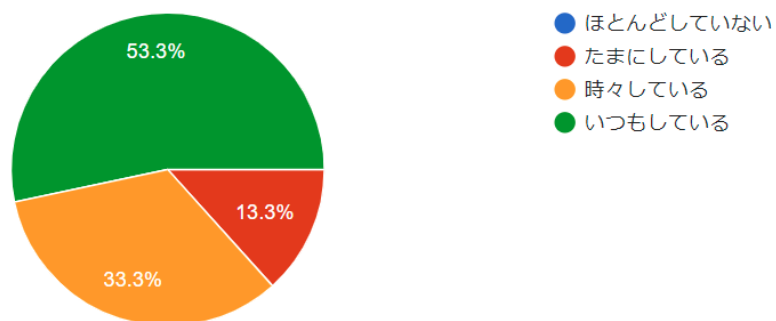


●自分にできていることできていないことを受け止め、他のメンバーに説明している割合は、「いつもしている」40%であった。「たまにしている」13.5%、「時々している」40%と、9割が行っていた。

問

同僚が困っているときに私にできることはないか声をかけている

15 件の回答

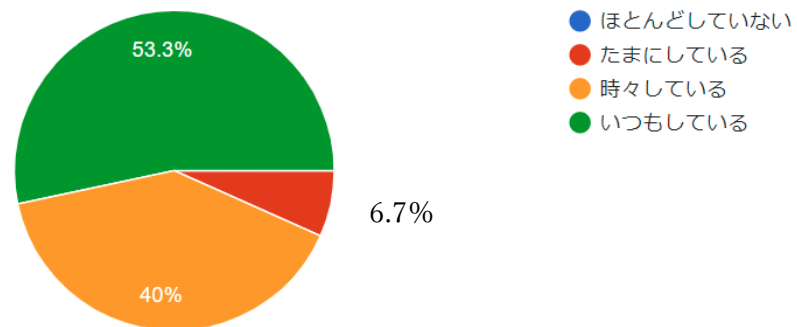


●同僚が困っているときの声かけについては、「いつもしている」が53.3%、次いで「時々している」33.3%、「たまにしている」13.3%で、割合は異なるが同僚への声掛けを行っていた。

問

わからないことは人に聞いたり、本で調べたり、手順を調べている

15 件の回答

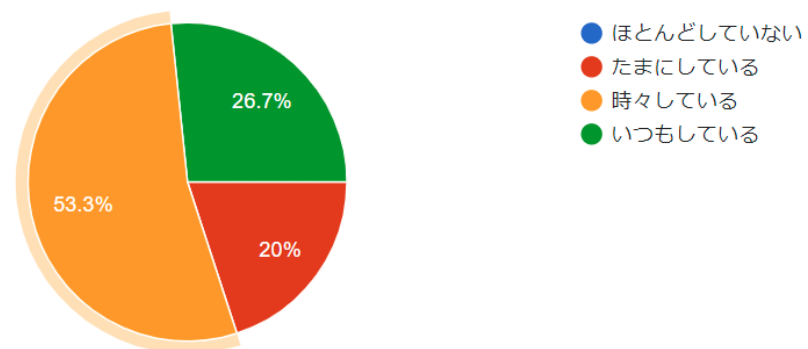


●わからないことを聞いたり、調べたりしている割合は「いつもしている」53.5%と一番多く、次いで「時々している」40%、「たまにしている」6.7%と、ほとんどがそのままにすることなく常に行動していた。

問

与えられた課題について計画を立てている

15 件の回答

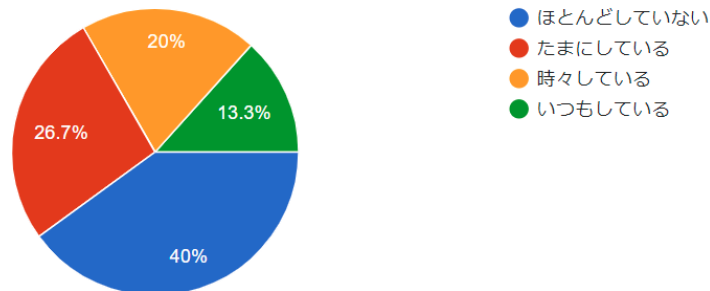


●与えられた課題についての計画性については「時々している」が 53.3%と一番多く、次いで「いつもしている」26.7%、「たまにしている」20%であった。

## 問

看護部の方針およびセクションの特徴と自分が大切にしている看護の両方から患者・家族に看護の役割を説明している

15 件の回答

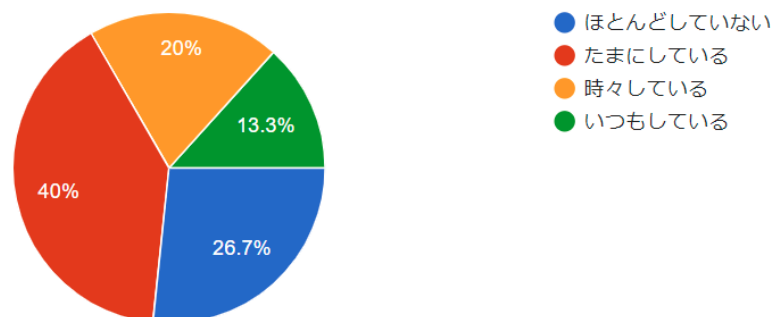


●患者、家族に看護の役割を説明しているは「ほとんどしていない」40%と一番多く、次いで「たまにしている」26.7%であった。

## 問

チームカンファレンスなどで発言している

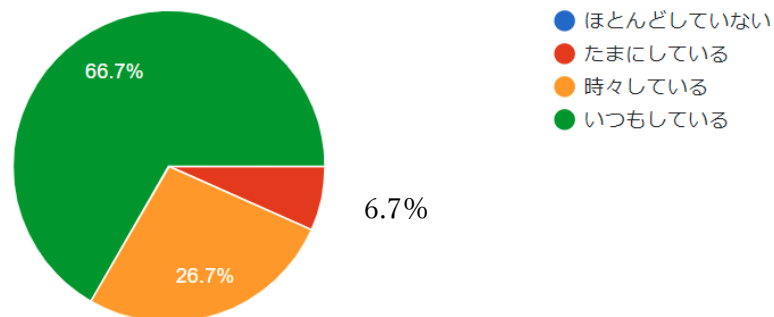
15 件の回答



●チームカンファレンスでの発言に関して、「たまにしている」40%、「時々している」20%、「いつもしている」13.3%であり、新人ながら自分の意見を説明している人が 7 割であった。一方で「ほとんどしていない」26.7%であり、発言をしていない卒業生も見受けられた。

問 患者・家族の苦情や不平に対してその真意を理解しようとしている

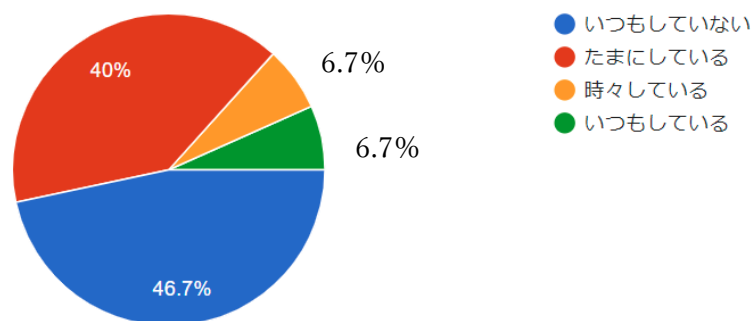
15 件の回答



●患者や家族の苦情や不平に対してその真意を理解しようとしている割合は「いつもしている」66.8%と一番高く、「時々している」26.7%「たまにしている」6.7%と、ほとんどが患者や家族を理解しようとした。

問 勤務先の方針、目標決定の背景について自分の理解が正しいか質問している

15 件の回答

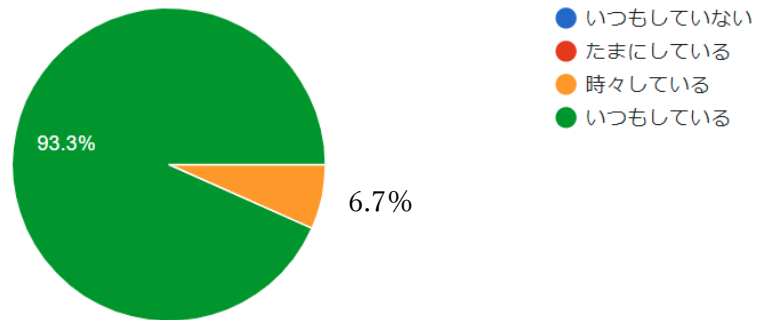


●勤務先の方針や目標設定の背景について自分の理解が正しいか質問している割合は「いつもしていない」46.7%と一番多く、次いで「たまにしている」40%であった。



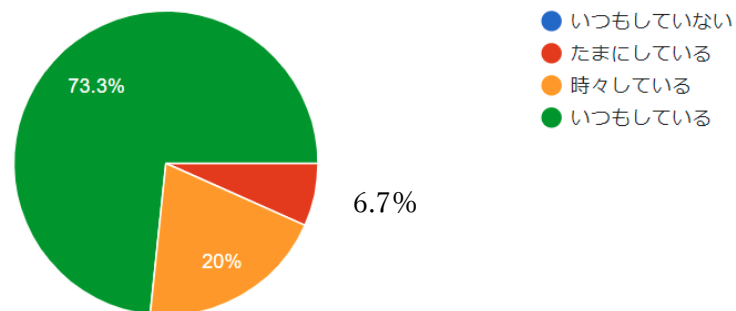
問 勤務先での「報告・連絡・相談」が行えている

15 件の回答



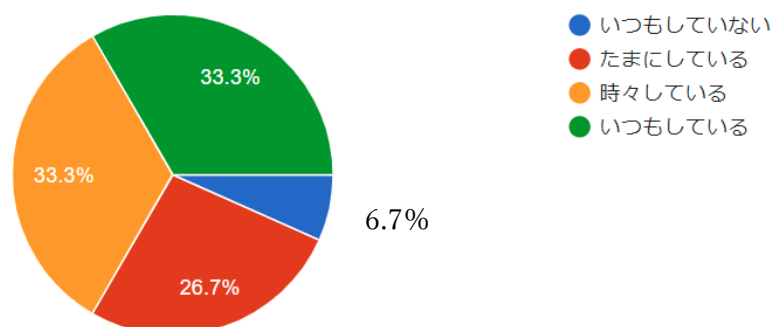
問 提出期限や指示された時間を守っている

15 件の回答



問 翌日のことを考え、体調を整える工夫をしている

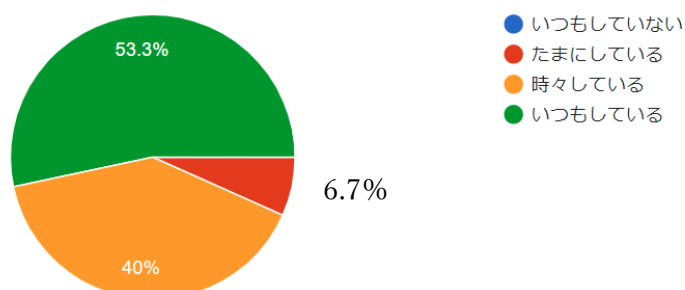
15 件の回答



## 問

絶えず相手の立場にたって、対象者に不利益や苦痛が生じないように意思決定や権利を遵守し、自己批判を繰り返しながら行動している

15 件の回答



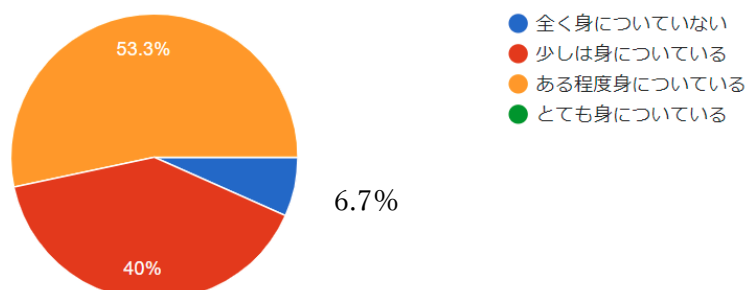
●勤務先への「報告連絡相談」は「いつもしている」93.3%、提出期限を守るは「いつもしている」73.3%、絶えず相手の立場に立って自己批判を繰り返しながら行動しているは「いつもしている」53.3%「時々している」40%であり、社会人としての基本や対象者を尊重し、さらに自分の行動を振り返っていた。

## 卒業時に身につけている力

## 問

豊かな人間性と幅広い教養を持った社会性のある医療人として基礎的能力を有している修得している。

15 件の回答

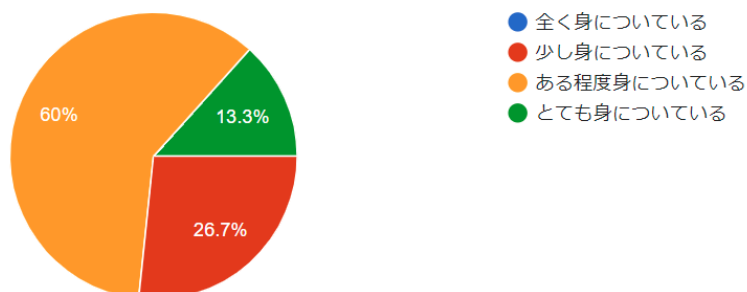


●医療人としての基礎的能力について「ある程度身につけている」53.3%、「少しは身につけている」40%と9割が卒業時に基礎的能力が身につけていたと肯定的な意見であった。

問

生命の尊厳と人権の尊重への深い理解を有し、専門職として倫理観を身につけている。

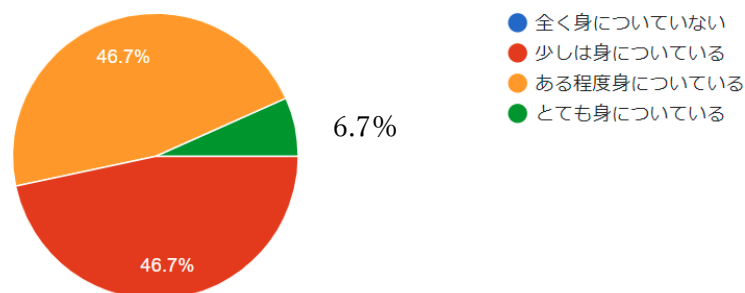
15 件の回答



問

健康にかかわる専門的知識を修得し、多面的に物事を分析・判断する能力を身につけている。

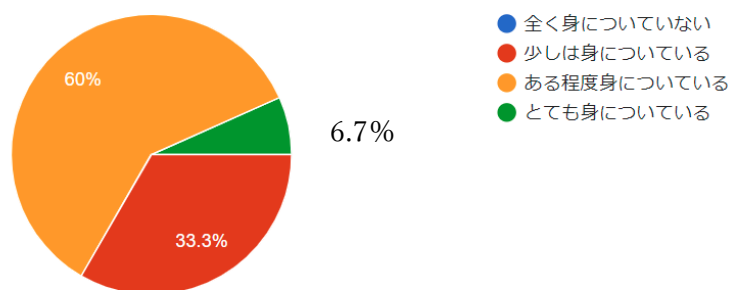
15 件の回答



問

人々の生活の質（Q O L）の向上をめざし、対象に合わせて看護実践する能力を身につけている。

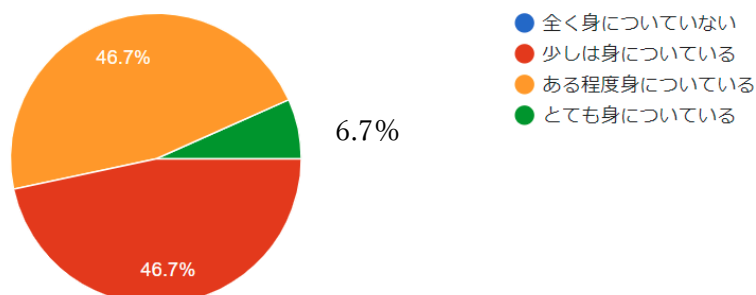
15 件の回答



問

様々な療養の場で生活する人々とその家族のニーズを理解し、必要に応じた看護を実践する能力を身につけている。

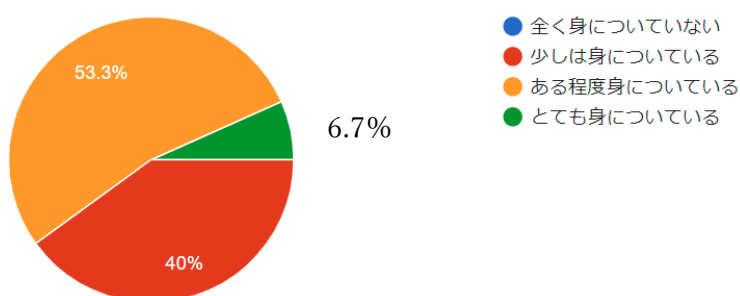
15 件の回答



問

保健・医療・福祉チームの一員として、多職種と連携・協働に向けて行動する能力を身につけている。

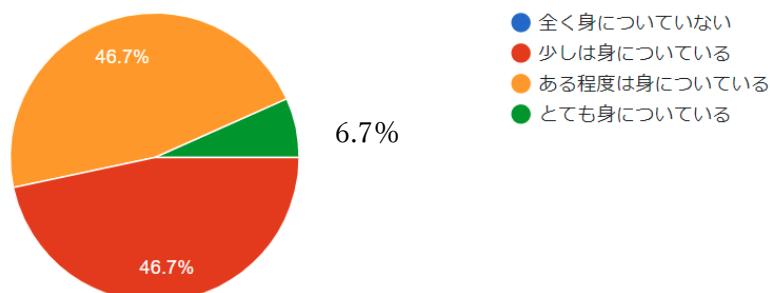
15 件の回答



●倫理観及びアセスメント能力、看護実践能力、多職種との協働については「まったく身につけていない」と回答したものはおらず、すべての学生が卒業時に身につけていた。

問 看護を通して社会に貢献するため、自らの課題を見出し生涯にわたって研鑽する姿勢を身につけている。

15 件の回答



●医療人として生涯にわたり研鑽する姿勢について「身についていない」とした学生はおらず、生涯にわたり探求する姿勢が身についていた。

問 社会人となって、今後、大学に期待することや、希望することがありましたらお書きください。

- ・今のご時世、非常に物事が進みにくいですが、頑張ってください。
- ・包帯巻かないの？点滴触ったことない？1番基本的な基礎の看護技術が丸々勉強できないまま看護師免許を取りました。必ず必要な技術と知識を習得して卒業したかったです。
- ・卒業生も受けれる講義やセミナーなどが参加できたら嬉しいです。卒業して看護師になってからだと大学で学んでいたことをさらに深く理解できそうだから。
- ・実践的な座学や国家試験対策に力を入れるべき。普段の定期テストを国家試験問題に沿った内容にすることがいいと思う。
- ・大学の同窓生とのつながりの場がもっとあればいいなと思います。

四條畷学園大学より

卒業生の皆様ご回答ありがとうございました。皆様からのアンケート結果を教職員で検討し、今後の教育の質向上に向けて貴重な資料とさせていただきます。

又、皆様からのご意見にある、卒業生が受けれる講義や、セミナーについても検討してまいります。

大学同窓生との繋がれる場につきましては、ホームページを開設しておりますので、アクセスしていただきお互いの情報交換の場にしていただければと思います。また大学からも情報発信していきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。